



図1 病原菌認識センサーから免疫反応の活性化に至る情報の流れのモデル。キチンを認識したCERK1は活性化し、PBL27をリン酸化する。その後、PBL27によるMAPKKK5のリン酸化、MAPKKK5によるMKK4とMKK5のリン酸化、MKK4とMKK5によるMPK3とMPK6のリン酸化、MPK3とMPK6による転写制御因子群のリン酸化が順番に起こり、最終的に多くの免疫関連遺伝子の発現が誘導される